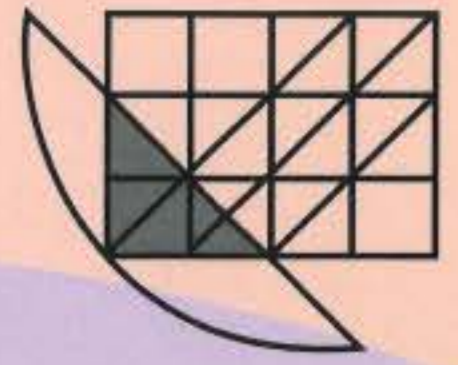


# 博物館だより



和歌山県立博物館

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

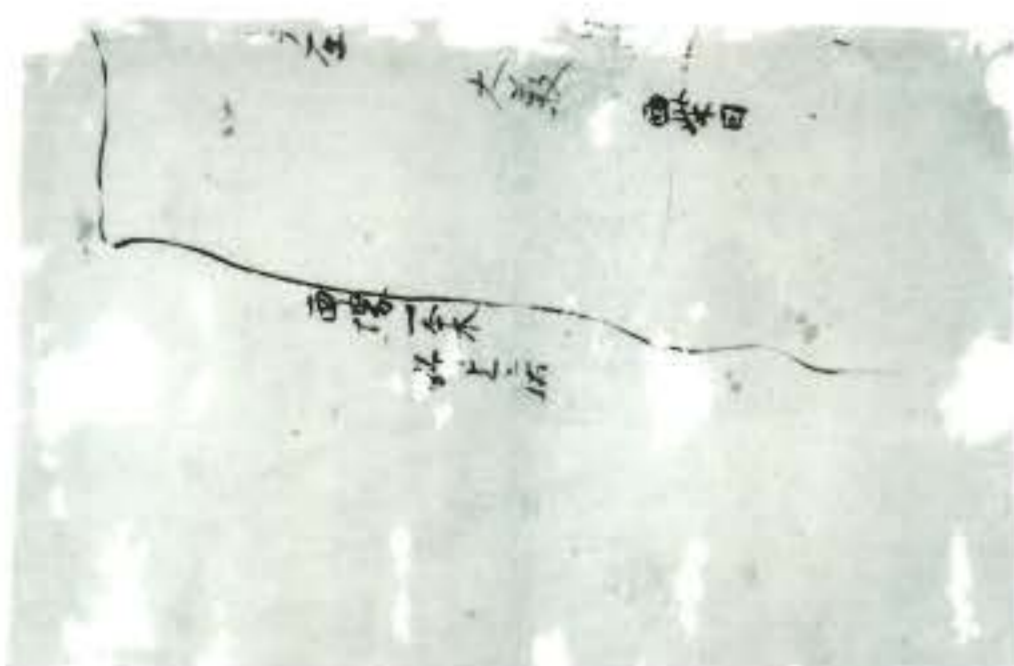
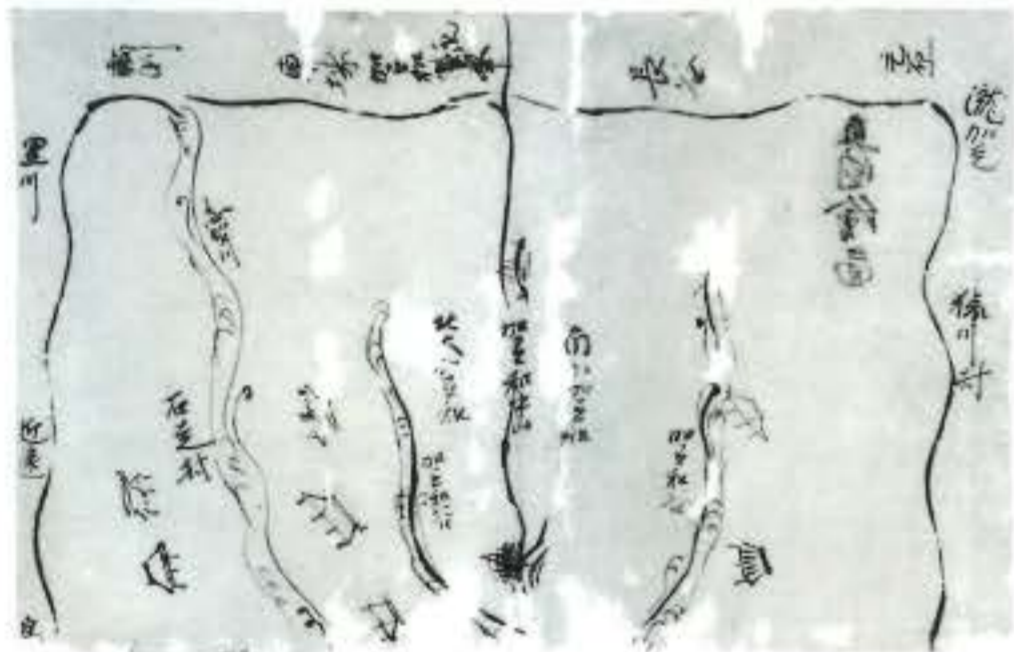
No.16

2011.3

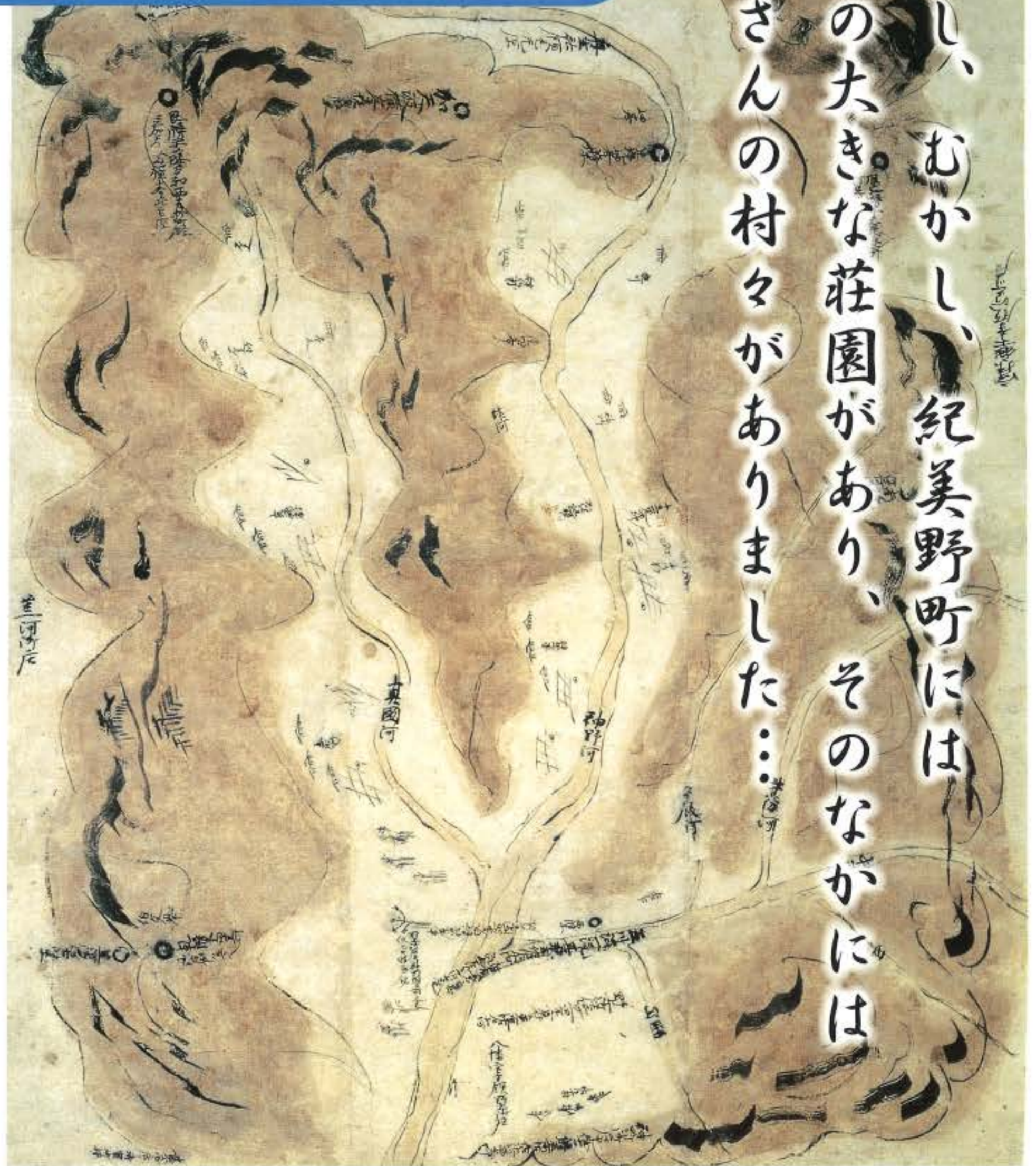
特別展

中世の村をあるく — 紀美野町の歴史と文化 —

10月22日(土)~12月4日(日)



紀伊国真国荘絵図 高野山正智院蔵



重要文化財 紀伊国神野・真国荘絵図 神護寺蔵

むかし、むかし、紀美野町には  
二つの大きな荘園があり、そのなかには  
たくさんの村々がありました…

特別展

華麗なる紀州の装い —かみ・ひと・ほとけをつなぐ—

4月23日(土)~6月5日(日)

特別展

# 華麗なる紀州の装い

―かみ・ひと・ほとけをつなぐ―

4月23日(土)〜6月5日(日)

糸を染めたり織ったりすることで作られている装束などの染織品は、年月による劣化や色あせの影響を受けやすいため、日本の文化財の中では、最もいたみやすいものです。

しかし、和歌山県内には、神社や寺院に奉納されたり、芸能の中で人々によって大切に守られたりして、古い時代の染織品が、数多く残されています。それらの中には、国宝や重要文化財に指定されているものも少なくありません。

この展覧会では、そうした国宝や重要文化財の染織品を中心に、紀州の歴史や文化とともにご紹介します。



国宝 古神宝類のうち 裃 香雲立涌文固綾 熊野速玉大社蔵



国宝 古神宝類のうち 袷 黄地浮線綾丸文唐織物 熊野速玉大社蔵



重要文化財 能装束のうち 萌葱地唐花尾長鳥文様繡狩衣 古沢巖島神社蔵



赤地唐草文金糸入縫取織七条袷装 報恩寺蔵



重要文化財 藍地花菱唐草文散紋小袖(徳川家康所用) 紀州東照宮蔵



舞楽所用具のうち 林歌 袍 紀州東照宮蔵

### 【展示の構成】

- I 神々の装い  
―熊野速玉大社の古神宝―
- II 芸能の装い  
―守られた古沢巖島神社の能装束―
- III 武将の装い  
―神になった家康と、その子頼宣の着物―
- IV 舞楽の装い  
―和歌祭で用いられた舞楽装束―
- V 追善の装い  
―ほとけに捧げる衣―

## 夏休みは博物館で 和歌山城の歴史を知ろう

県立博物館では、7月23日(土)から9月4日(日)まで、子ども向けの企画展「和歌山城と城下町に住む人々」を開催します。

この企画展では、和歌山の郷土学習では欠かせない、和歌山城とその周りの城下町について、関連する資料をもとに、わかりやすく解説します。

左下の絵で、駕籠に乗っている人物は、誰でもしろう。

この絵は、一八四四年に参勤交代で、江戸(東京)から和歌山に帰ってきた行列が、和歌山城に着く直前の様子を描いたもので、巻物になっています。駕籠に乗っているのは、紀伊徳川家の11代藩主徳川斉順(一八〇一〜一八四六)です。城下町に住む秋香軒という85歳の老人が書きました。



行列には、千人近くの人物が描かれています。道端で、城下町の人々が行列を見物しています。今なら、朝、東京を出発すれば、昼すぎには和歌山に着きますが、江戸時代は3週間もかかる長い長い旅でした。

特別展

# 中世の村をあるく ― 紀美野町の歴史と文化 ―

10月22日(土) ～ 12月4日(日)

## 神野・真国荘

東にあった神野・真国荘。平安時代に京都・神護寺の荘園で、のちには高野山の荘園になりました。神護寺には平安時代の絵図が、高野山には鎌倉時代の絵図が残されています。その2枚の絵図、現地の村々や寺社などに残された文化財から、その歴史と文化をご紹介します。中世の村の世界へと誘います。



大般若波羅密多經 満福寺蔵



大般若経会 (毛原大日寺)



毘沙門天立像 玉泉寺蔵

## 野上荘

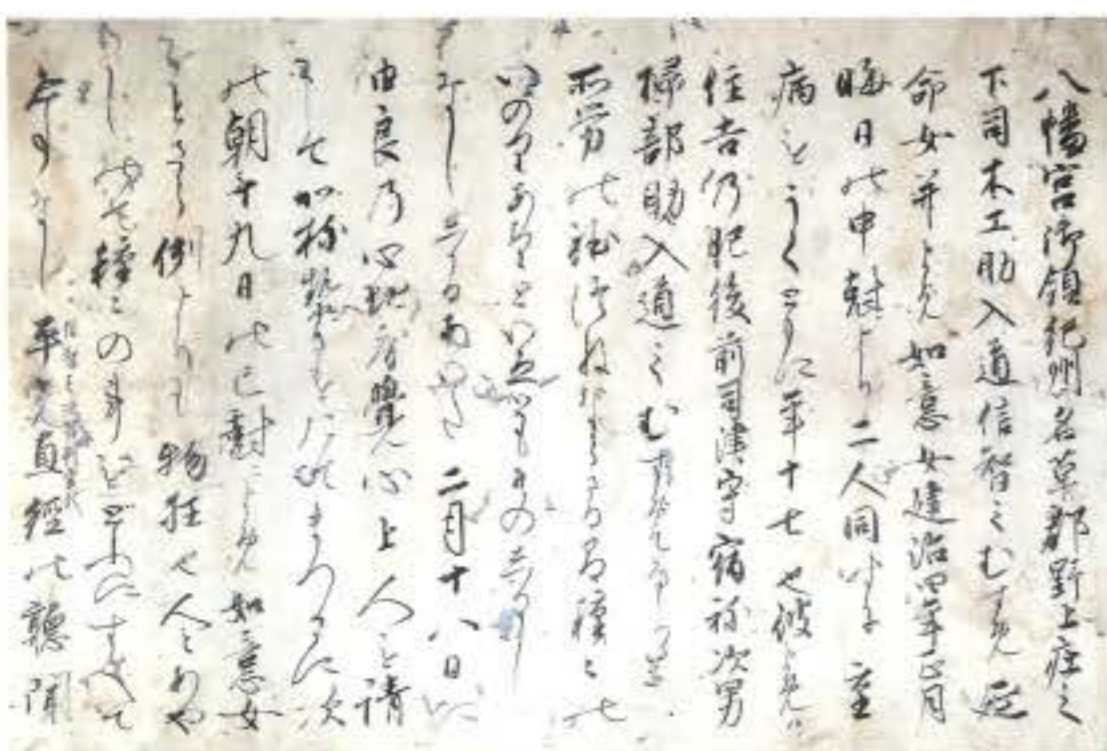
西にあった野上荘。石清水八幡宮の荘園でした。野上八幡宮を中心にした文化財をご紹介します。また、中田地区・梅本地区などの棚田、生石山など豊かな自然の源流を古文書や言い伝えなどもふまえながら、その歴史と文化をご紹介します。



重要文化財 石清水八幡宮文書のうち 太政官符 石清水八幡宮蔵



中田地区の棚田



野上八幡宮託宣記 野上八幡宮蔵

企画展	企画展	企画展	特別展	企画展	子ども向け企画展	企画展	特別展	企画展	常設展
たたかう村	江戸時代・医者のからし	ハンコって何？	中世の村をあるく —紀美野町の歴史と文化—	經典の美	和歌山城と 城下町に住む人々	葛城修験の聖地・ 中津川行者堂の文化財	華麗なる紀州の装い —かみ・ひと・ ほとけをつなぐ—	博物館のたからもの	きのくにの歩み —人々の生活と文化—
3月10日～4月22日	1月28日～3月4日	12月10日～ 平成24年1月22日	10月22日～12月4日	9月10日～10月13日	7月23日～9月4日	6月11日～7月18日	4月23日～6月5日	3月5日～4月17日	4月1日～10月13日 12月10日～3月31日
鎌倉時代～江戸時代におけるきのくにの村々は、隣村や領主、自然と闘っていました。実際に戦闘におよぶ場合もあれば、裁判などで争う場合もありました。この企画展では、古文書や絵図を中心にして、当時のたくましく自立したきのくにの村人の姿をご紹介します。	麻酔薬を開発した華岡青洲関連資料と、藩の御殿医をつとめた広田家伝来資料を中心にして、医療技術が進歩した江戸時代の医者の実態に迫ります。	日本の美術や工芸の中には、さまざまな形でハンコ印が使われています。書や絵画では、署名とともにハンコがおされ、その制作者を示します。また、ハンコには作者の個性もあらわれ、年代による変遷もあります。ハンコに注目して館蔵品・寄託品をご紹介します。	平安時代から室町時代の紀美野町には、東に神野・真国荘、西に野上荘という2つの大きな荘園がありました。絵図や古文書、仏像や八幡信仰に関する遺品など現地に残る文化財を手がかりにして、中世の村の世界へと誘います。	人々が功徳を積むために心を込めて書写・刊行した經典には、文字だけでなく、料紙・軸などにも見どころが多くあります。館蔵品・寄託品の中から、法華経・般若経などの名品(奈良～江戸時代)を展示します。	子どもたちを主な対象とした夏休みの企画展。隣接する和歌山城の歴史を物語る資料や、城下町の絵図や商人の姿を描いた絵巻などから、和歌山城下に住んだ人々の生活を紹介します。解説も子ども向けに行います。	紀の川市中津川地区にある行者堂は、和泉山脈の峰々をめぐって修行する葛城修験の重要な拠点です。この行者堂と近隣の熊野神社に伝わる文化財から修験道文化の一端を、ご紹介し、あわせて近年盗難を受けた行者堂の文化財についての情報をお伝えします。	紀州には、神社や寺院に奉納されたり、芸能の中で人々によって守られたりして、装束などの古い時代の染織品が、数多く残されています。この展覧会では、国宝や重要文化財に指定されている染織品を中心に、紀州の歴史や文化とともにご紹介いたします。	博物館の活動は、資料の収集・保管・調査・研究・展示を軸としています。和歌山県に関わる「たからもの」であるさまざまな資料は、寄贈や寄託、購入などの方法で収集に努めています。博物館のコレクションから、魅力あふれる和歌山県の歴史と文化をお伝えします。	三万年にわたるきのくに—和歌山県の歴史を、人々の生活と文化を主軸として、わかりやすく展示しています。特別展「中世の村をあるく—紀美野町の歴史と文化—」開催中は、常設展を行っておりませんので、ご注意ください。

お知らせ

◆博物館では、主要な作品をイヤホン式ガイド機で解説する音声ガイドを提供していますので、ぜひご利用下さい(一般二〇〇円、高校生以下一〇〇円)。常設展については、上級コース・英語版もあります。

◆博物館のウェブサイトで、展覧会の詳しい情報や学芸員によるコラム、博物館ニュース、刊行物のリスト、県内の文化財情報、博物館の多様な利用方法などを掲載しています。検索エンジンで「和歌山県立博物館」などと検索して下さい。URLは下記にも記載しています。

◆博物館では、学校行事での利用はもちろん、職場体験やミュージアムボランティア、教員研修など、学校と連携した教育普及活動にも取り組んでいます。詳しくは当館学芸課までお問い合わせ下さい。またホームページにも案内を掲載しています。

和歌山県立近代美術館(博物館となり)の展覧会

企画展	常設展
版画の「アナ」ガリ版がたたく孔版画の歴史 ポップ・アート・グラフィック・コレクションに見るポップなアートの50年 なつやすみの美術館 生誕100年 高井貞二展 吉原英雄展 画家のドラマ ホックニーのグリム童話 ※題名はすべて仮称、また会期も変更の可能性がある。	常設展 コレクション展 2011 春 吉田政次の世界展 コレクション展 2011 夏 コレクション展 2011 秋 コレクション展 2011/12 冬 コレクション展 2012 春
3月19日～4月17日 4月29日～6月19日 7月2日～8月28日 9月3日～10月28日 11月19日～1月16日 2月11日～3月25日	3月19日～6月12日 6月19日～9月4日 9月17日～12月4日 12月20日～2月19日 3月6日～3月31日

博物館の利用案内

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)  
休館日 月曜日(月曜日が祝祭日の場合は次の平日)、年末年始  
展示替えにともなう臨時休館する場合があります。  
詳しくは博物館までお問い合わせください。

入館料

来館者	来館者以外
1時間まで 以後30分ごと	100円 200円 300円 100円

※大型バスでご利用の場合はお問い合わせ下さい。

〈華麗なる紀州の装い〉 (常設展示も行っていません)

一般	大学生
個人 500円	300円
団体 400円	250円

〈中世の村をあるく〉 (常設展示は行っていません)

一般	大学生
個人 800円	500円
団体 650円	400円

〈常設展・企画展〉

一般	大学生
個人 280円	170円
団体 220円	140円

※高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生・就学生の方は無料です。  
※団体申込みは、和歌山県電子申請システム  
(<https://www.e-tetsuzuki99.com/eap-jportal/wakayama/>)  
からでも申し込みできます。必要事項を記入のうえ、申し込み下さい。  
※企画展の展示替え期間中は常設展示のみとなります。

和歌山県立博物館友の会

—平成23年度会員募集—

友の会では、バスツアー、書籍の割引販売などの事業を行っています。  
入会のお申し込み・お問い合わせは  
友の会事務局 (TEL.073-436-8670)まで。

交通



JR和歌山駅または南海和歌山市駅から「県庁前」(バス停)下車、徒歩2分

和歌山県立博物館 博物館だより 第16号

発行日 平成23年(2011)3月20日  
編集 和歌山県立博物館  
〒640-8137 和歌山市吹上一丁目4番14号  
TEL(073)436-8670  
<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>